



地域医療連携ニュース

発行：兵庫県立加古川医療センター 〒675-8555 加古川市神野町神野 203 番地 <http://www.kenkako.jp/>
TEL：079-497-7000(代表) TEL：079-497-7011(地域医療連携部直通) FAX：079-438-3756(地域医療連携部直通)

も	● 医事企画課	1	● 外科・消化器外科	5
く	● 脳神経内科	2	● 整形外科	6
じ	● 障害者病棟のご紹介	3	● 栄養管理課	7
	● 泌尿器科	4	● 外来診療表	8

「病院機能評価の認定」を受けました

令和6年11月当院は病院機能評価を受審し、本年3月に認定されました。病院機能評価とは、良質な医療を提供するために必要な病院の組織、管理、運営、実際の医療プロセスを評価し認定するものです。

今回、日頃の自分たちの業務をみつめ、課題を解決し、認定を受けるに至っています。今後もより一層地域の皆様の信頼が得られるよう取り組んで参ります。



医事企画課

地域の医療機関の皆様におかれましては、日頃より患者さんのご紹介等につきまして大変お世話になりありがとうございます。また、訪問看護ステーション、薬局、消防機関の皆様におかれましても、業務の円滑な遂行にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

医事企画課では、患者さんに快適に診療を受けていただけるよう心がけ、業務にあたっております。



◆外来窓口

来院された方の診療受付、各種案内、会計業務等を行っています。待ち時間のストレス軽減のため、外来に電子掲示板を設置し、診察順や医療に関するお知らせ等を表示しています。また、公衆無線LAN「Hyogo_Free_Wi-Fi」を整備しており、インターネットに接続できるようになっています。

会計時には、有人の支払窓口のほか、自動精算機2台でもお支払いが可能です。現金払いのほか、クレジットカード、デビットカード、iDも使用できます。

受診予約なしで来院された場合、大変お待たせしてしまうことがありますので、ご紹介いただく際は、地域医療連携部を通じて初診予約を取得いただきますようお願いいたします。

本年1月15日より、保険確認窓口を設置し、再来受付機での受付前にマイナ保険証を含む各種保険証や受給者証等の確認を行っています。

◆入退院窓口

入退院される患者さんやご家族への説明、面会受付、診断書等の書類作成依頼の受付などを行っています。入院費の請求にあたっては、勉強会や算定研修会を通して情報を共有し、適正な請求に努めています。また、入院時に必要な衣類・タオル・日用品等レンタルシステムの紹介も行っています。

◆その他相談窓口等

カルテの開示請求、医療費のお支払いの相談などに対応しています。

◆診療情報管理室

診療情報管理士が、DPC（入院会計）請求チェック業務、退院サマリー管理業務、がん登録業務等にあたっています。適正な請求のため、多職種との連携を日々心がけています。



脳神経内科

診療部長兼脳神経内科部長 **奥田志保**

現在、脳神経内科はスタッフ4名、専攻医2名のバランスの取れた構成で、脳卒中、パーキンソン病や脊髄小脳変性症などの神経難病、多発性硬化症、視神経脊髄炎などの神経免疫疾患、ギランバレー症候群、細菌性髄膜炎や脳炎などの感染症など、急性期から慢性期まで幅広い神経疾患に対応することが可能となっています。特に我々が2年前から取り組んできたパーキンソン病や脊髄小脳変性症患者に対するリハビリ入院は、その有効性から患者数は年々増加しています。2025年度には神経難病センターを開設し、1病棟を障害者病棟に切り替え、リハビリ療法士を増員するなどして、入院リハビリ加療に重点を置いた体制作りを行っています。

当院のような公的な急性期の総合病院が障害者病棟を持ちリハビリ入院に取り組むという前例はなく、本邦初の試みになります。総合病院なので診療科も揃っており、入院中はリハビリ加療だけでなく他科受診も可能です。是非当科のリハビリ入院を患者さんにご紹介いただき、ご利用いただければと思います。



障害者病棟のご紹介

6階東病棟看護師長 松尾 順子

●障害者病棟

当院では2025年4月よりパーキンソン病をはじめとする神経難病患者さんの「リハビリテーション入院」ができる病棟を開設しました。医師、看護師、リハビリ療法士など、それぞれの専門分野のスタッフが連携して、患者さんの状態に合わせた医療やケアを提供しています。退院後も、住み慣れた地域でその人らしい生活が送れるよう支援することを目標に、医療ソーシャルワーカーや関係機関と連携して患者さんやご家族の思いに寄り添うことを心がけています。



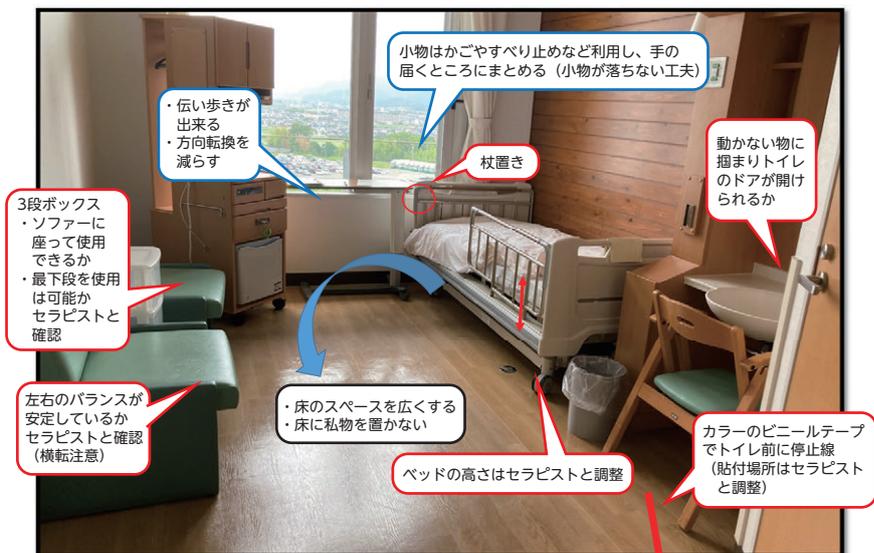
●入院環境

入院目的であるリハビリと入院生活の安全を両立できるよう療養環境の調整を行っています。入院時には、リハビリ療法士、看護師で患者さんや家族と一緒に日常生活動作や症状を確認しながらベッド周囲の配置を整えます。

写真はパーキンソン病患者さんに合わせ、移動スペースをより広くとれるように考慮した配置です。又、主治医により許可された方は週末に1泊の外泊を実施し、自宅での動作確認をしていただき、困りごとを持ち帰ってリハビリを実施するなど長期入院後も自宅でスムーズに生活が送れるように工夫しています。

患者さんを中心に、残存機能を活かしながら自立した生活を送ることができるようリハビリテーション看護を提供しています。

<パーキンソン病 基本のレイアウト例 (個室)>すくみ足予防のためナロースペース (狭い場所) を減らす



●病棟デイケア

2025年5月より病棟デイケアの取り組みを開始しました。

楽しく過ごすだけでなく、神経難病疾患の特徴をふまえて、リハビリも取り入れたレクリエーションを行っています。たとえば、音楽に合わせての体操や折り紙で季節の飾りを作るなど、日中の離床時間を確保し、認知機能低下の予防、意欲の向上などを目指してサポートしています。





泌尿器科

泌尿器科部長 大場 健史

当科では泌尿器科悪性腫瘍の治療を中心に、尿路結石、排尿障害（頻尿、尿失禁、排尿困難）等、泌尿器科疾患全般に幅広く対応できる体制を取っています。

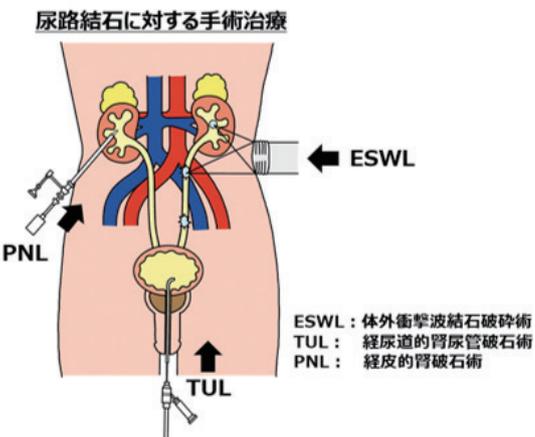
*泌尿器科悪性腫瘍に対するロボット支援手術 ～Hinotoriが活躍しています～

2013年より手術ロボットda Vinci Siを導入し、前立腺癌に対する前立腺全摘除術を皮切りに、腎部分切除術、膀胱全摘除術、腎全摘除術、腎尿管全摘除術、腎盂形成術と段階的に新しい術式を導入し続けています。現在、当科で施行する全身麻酔下手術の90%以上がロボット支援手術となっており、今後もその割合は更に上昇していくものと考えています。

2022年からは2台目の手術ロボットHinotoriを導入しています。Hinotoriは兵庫県に本社を置くシスメックス(株)と川崎重工業(株)の合併会社、メディカロイド(株)が作製した国産で初の手術ロボットです。アメリカ製のda Vinciと比較し、日本人の体型を考慮した繊細な操作が可能であることが特徴です。更に国産機の利点として、仕様のアップデートも随時実施されており、今後更なる機能の上昇も期待できます。当科ではHinotoriサージカルシステムを核にした、低侵襲、高精度な手術治療をこれからも推進していきます。

*尿路結石性疾患に対する手術 ～特にサンゴ状結石の治療について～

尿路結石には、部位別に分類すると腎結石、尿管結石、膀胱結石があります。特に腎結石は経尿道的に手術をしようとする、最も遠くまで尿管鏡等のデバイスを挿入しなければならない治療に難渋することがあります。



更にその腎結石の中でも、サンゴ状結石といわれる腎盂内を埋め尽くす様な大きな結石の治療には、他の結石以上に慎重を期する必要があります。このサンゴ状結石に対する治療法は、背側から腎臓に瘻孔を作製し、瘻孔経由で衝撃波を使用して結石破壊するPNL（経皮的腎結石破砕術）と、経尿道的に尿管内に軟性鏡を挿入し逆行性にレーザーで破碎するTUL（経尿道的結石破砕術）があります。これらの術式を組み合わせ、複数回の手術とはなりませんが、開腹せずにできるだけ低侵襲での完治を目指しております。結石治療に関して、症例にもよりますが受診当日の体外衝撃波結石破砕術も施行可能となっておりますので、ご紹介頂けましたら幸いです。





外科・消化器外科



外科・消化器外科部長 **小林 巖**

消化器悪性疾患から、消化管穿孔や閉塞性大腸癌などの救急診療まで、また鼠経ヘルニアや肛門疾患などの良性疾患まで幅広く対応しています。ほとんどの症例で腹腔鏡手術、低侵襲手術を心がけており、また3D内視鏡による高精細画像やICGによる血流評価を用いて、安全性、根治性の確保に努めています。さらに、救命センターとも密に連携し、重症外傷症例におけるdamage control surgeryや消化管再建手術などの集中治療を要する3次救急治療も積極的に行っています。

最近のtopicとしては、一昨年より、下部直腸癌に対し腹腔側と肛門側の双方向から鏡視下に手術を行うTaTME併用低位前方切除術を行っており、肛門機能温存、必要十分な切除マージンの確保、及び手術時間の大幅な短縮等、良好な治療成績を得ております。また腹壁癒着ヘルニアに対してeTEP(enhanced view-totally extraperitoneal technique)による根治術を取り入れ、巨大ヘルニアへの対応や術後疼痛の軽減を図っています。さらに本年より大腸肛門病学会関連施設となり、「切らずに治す」ALTA治療も組み入れた痔核根治切除術も可能となっています。

悪性疾患の治療方針としては、従来通り、予後の改善を最も重視し、その上で基本的には各疾患のガイドラインに則った治療を行っています。遠隔転移を有するような高度進行胃癌に対しても、conversion手術を見据え、消化器内科と連携して術前補助化学療法を行い、根治切除の可能性を追求しています。近年増加傾向である食道胃接合部癌に対しては、腫瘍の位置に応じて食道全摘、噴門側胃切除、胃全摘を選択し、胸腔鏡並びに腹腔鏡を用いた低侵襲かつ過不足のない治療を行っています。閉塞性大腸癌に対しては緊急で大腸ステントを留置し、減圧のちに待機的手術を行う事で一期的に治療が完遂するよう努めています。患者さんには治療の選択肢を全てお示したうえで、治験参加や高難度手術等の先進的な医療を希望されたり、もしくはそれらの適応があると考えられる場合には、神戸大学医学部付属病院と連携して治療に当たっています。

スタッフは5名で、4人の消化器外科医に、救急科専門医を加えた構成となっています。メンバーは、消化器外科医として十分な経験と各々に専門領域、得意分野を有しており、チームワークも大変良好です。また消化器内科をはじめ、他科との連携も良好であり、トータルで患者さんに良好な医療を提供できるように心がけております。地域の中核病院として皆様のご期待に沿えるよう頑張ります。

地域医療機関の先生方へ

木曜日は外来診療枠がありませんが、急を要する症例に関しましては遠慮なくご連絡、ご紹介頂けましたら出来る限り対応させていただきますので宜しくお願い致します。



■スタッフ紹介

小林 巖 (外科・消化器外科部長 平成10年卒)
日本外科学会専門医 医学博士

中川 暁雄 (外科・消化器外科部長 平成14年卒)
日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医
消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
日本医師会認定産業医 医学博士

門馬 浩行 (外科・消化器外科部長 平成15年卒)
日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医・指導医
消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本痔臓学会認定指導医 日本腹部救急医学会認定医・評議員
鼠径部ヘルニア習得医 検診マンモグラフィ読影医
臨床研修指導医 緩和ケア研修会修了
NST医師 医学博士

中山 瑤子 (外科・消化器外科医長 平成19年卒)
日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医
消化器がん外科治療認定医 内痔核治療法研究会四段階注射法講習会修了
がんのリハビリテーション研修会修了 臨床研修指導医
緩和ケア研修会修了 医学博士

川嶋 太郎 (救急科医長兼外科・消化器外科医長 平成20年卒)
日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医・指導医
日本救急医学会専門医 日本腹部救急医学会認定医・教育医
消化器がん外科治療認定医 臨床研修指導医
緩和ケア研修会修了 NST医師

〈非常勤医師〉

堀 宏成 (外科医長 平成10年卒)
日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医 消化器がん外科治療認定医
日本消化管学会胃腸科専門医 緩和ケア研修会修了
臨床研修指導医 医学博士



整形外科



副院長兼整形外科部長 **高山 博行**

当科は旧県立加古川病院時代から、長年にわたり東播磨地域における整形外科診療の中核として、皆様の信任を頂いてまいりました。2009年の新設移転後は救命救急センターが併設されて重度外傷、3次救急にも対応可能となり、最新医療設備も整備されて手術件数も県内屈指のレベルに増えました。

外 傷

高齢者の大腿骨近位部骨折や2次救急外傷だけでなく、高エネルギー外傷に伴う多発骨折などの重度外傷の治療も行っております。重度外傷では全身状態が不良な場合も多く、救急科を始め多くの科と連携して集学的な治療を行っています。

関節外科

変形性関節症や関節リウマチに対する人工関節手術や、膝半月板損傷に対する関節鏡下手術を多数行っています。人工関節は、ポータブルナビゲーションシステムも使用し、変形に応じた手術アプローチやインプラントを選択して手術を行っています。

リウマチ膠原病センター

2016年度に「リウマチ膠原病センター」が開設され、関節リウマチによる関節の変形、痛み、機能障害に対する手術も多数行っております。リウマチ関連のどのような問題にも対応いたしますのでご相談ください。

脊椎外科センター

2018年度に「脊椎外科センター」が開設されました。脊椎疾患の手術で最も多い、腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニアの手術は顕微鏡や内視鏡を導入し、できるだけ低侵襲で行っています。腰椎すべり症や脊柱変形、脊椎損傷などは、不安定な脊椎や、骨折部を固定するための脊椎固定術が必要ですが、最新の術中透視装置、最新のナビゲーションを導入し、低侵襲、低被爆、正確性の高い手術を施行しています。また術中脊髄機能モニタリングもできるだけ併用し、安全度の高い手術が可能となっています。

骨粗鬆症センター

高齢化により骨粗鬆症患者が急増しており、骨粗鬆症の治療にも力を入れています。骨粗鬆症治療は生涯にわたる継続が必須であり、2016年度に「東播磨骨粗鬆症地域連携ネットワーク会議」を立ち上げ、近隣医療機関と連携しての地域全体での治療を目指しています。2019年度には「骨粗鬆症センター」も開設し生活指導も含めた包括的な治療（リエゾンサービス）の拡充を目指しております。

2020～2022年のコロナ禍では診療制限もあり、業績も落ち込みましたが、現在はそれもなく、コロナ前を超えて患者数、手術件数とも過去最高を更新する勢いです。非常に多くのご紹介を頂き、誠にありがとうございます。今後とも整形外科をよろしく願い申し上げます。





栄養管理課



栄養管理課長 **吉田 有紀江**

栄養管理課では、食を通じて患者さんの疾患の治癒促進と栄養状態の改善をサポートすることを目標としています。



業務内容

主な業務内容として、給食管理業務と栄養管理業務があります。入院患者さんの食事提供を行う給食管理業務においては、病院調理員15名、管理栄養士9名、栄養士1名、事務員1名、委託栄養士及び調理スタッフ20名がそれぞれの業務を連携しながら行っています。HACCPに基づく厳しい衛生管理も求められる中、患者さんの声を聞き、治療食であっても美味しく食べていただけるよう日々努めています。栄養管理業務では、病院管理栄養士が栄養指導の実施やさまざまなチーム医療へ参画しています。



また、退院時に介護施設や訪問看護ステーションに向けて、サマリーを作成し情報提供を行ったり、退院後の在宅での食事について指導しています。こうした切れ目のない食生活支援について、今後も取り組んでいきたいと考えています。

新しい取り組み

今年度からの取り組みとして、特定集中治療室（以後「ICU」という）における早期栄養介入を開始しました。ICUに入室される患者さんは24時間を通じた濃密な観察のもとに、先進医療技術を駆使した集中的な治療を要する重篤な状態にあります。重症患者さんでは、代謝反応や異化亢進状態が急速に進み重度の栄養障害をもたらすため、適切な栄養管理を早期に行うことが重要となってきます。管理栄養士が関わることでICUに入室される患者さんの栄養状態が改善される助けになればと思っています。





県立加古川医療センター外来診療表

令和7年7月1日(火)～

		月	火	水	木	金
総合内科	初診	石田	大北	藤田	担当医	中村
消化器内科	1 診	埴本(さかもと)	安富	田村	【伊(ゆん)】(再診のみ)	埴本(さかもと)
	2 診	廣畑	森口	廣畑	廣畑	安富(午前)森口(午後)
	3 診	河原			白川	布目(午後)
循環器内科	1 診 再診のみ		担当医		担当医(～14時) 【ペースメーカー】	担当医
脳神経内科	1 診	下村	奥田	一角	高原	奥田
	2 診		土田(午前)	下村(午後)		一角
糖尿病・内分泌内科	1 診	合田	藤田	田守	石田	樫谷
	2 診		大西	稲山		前田
緩和ケア内科	入棟面談	担当医		担当医		担当医
	サポーターケア外来 (緩和ケア外来)	田中	田中(午後)	田中(午前)		
生活習慣病			【戒谷(えびすたに)】(午前) 【坂田】(午後) 糖尿病・肥満 装具外来 (第2・4午前)	【合田】 糖尿病・肥満	【西山】 糖尿病・肥満	笠松(午前)
リウマチ科	1 診	中川	塩澤	塩澤	天野	中川
	2 診	田中	上藤	青崎	田中	仲
	3 診	仲	吉原	吉原	吉原	担当医
	4 診	村田	西田	村田	村田	担当医
	5 診	並木		原井川		北野
腎臓内科	1 診 午後	藤川	加藤		藤川(2,4週午前) 加藤(1,3,5週)北浦(2,4週)	山本(午前)
外科・消化器外科	1 診	小林	川嶋	小林	交代制	担当医
	2 診	中川	担当医	門馬(もんま)		中山
心臓血管外科			担当医			担当医(午後)
脳神経外科	1 診	担当医	荒井	森下	担当医	荒井
	2 診		松島	荒井		松島
乳腺外科	1 診 再診のみ	石川	石川		石川	
整形外科	初診 1 診	青木	上藤	高山	市村	中川
	初診 2 診	高原		北山	神村	
	骨粗鬆症 午後	【上藤】		【北山】		
形成外科	1 診	櫻井	交代制	櫻井	櫻井	櫻井
	2 診	松葉		松葉	松葉	松葉
	3 診	佐竹		佐竹	佐竹	佐竹
	4 診	小堀		小堀	小堀	小堀
皮膚科	初診/予診	稲守	永松	南	竹内	稲守
	1 診	竹内(午前)	川田	川田	稲守	川田
	2 診	永松(午前)	南	永松	南	竹内
眼科	1 診	薄木(午後)	薄木			薄木
	2 診	徳川	徳川	徳川		徳川(第3)
	3 診	秋田(第2・4)				
泌尿器科	1 診	担当医	金	田中	担当医	田中
	2 診		大場			大場
放射線科	(IVR)	担当医		担当医		担当医
	(治療)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医

予約受付時間 平日 9:00～18:30 土曜日 9:00～11:30(祝日除く)

※各科診療予定は変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※【 】は予約できませんが、特別に受診を希望される場合等は、ご連絡下さい。

お願い 皆さんの待ち時間短縮のため、FAXまたはインターネットで初診予約をお取り下さい。
インターネットで初診予約を行う場合は、登録医の登録をお願いします。

～地域医療連携部よりお知らせ～

令和7年2月より循環器内科と乳腺外科は新規紹介患者さんの受け入れを停止しております。
ご理解の程、よろしく願いいたします。